

令和6年度 第1回 開成中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年4月24日(水)13時30分から15時20分まで
- 2 開催場所 開成中学校 多目的室
- 3 出席委員 名波 弘充、吉田 葉津美、石川 夏紀、若松 由希野、磯部 多秀、  
杉山 幸生
- 4 欠席委員 高林 正嗣
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也(北部協働センター所長)
- 6 学 校 吉田 拓司(校長)、山守 達大(教頭)、山田 亘(主幹教諭)、  
松本 敬介(CS担当)、山崎 智子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 牧野 知子(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について
- (3) その他

- 10 会議録作成者 CSディレクター 山崎 智子

- 11 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、磯部委員から名波委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された名波委員から、吉田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

- 12 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、名波委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

- 13 会議記録

司会から、委員総数7人のうち6人の出席があり過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議に先立ち、教育委員会の牧野指導主事より、浜松市学校運営協議会規則確認が行われた。

- (1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校にナイター設備がないが、何か理由があるのか。ナイター設備はあったほうがいいのか。(杉山委員)

→理由ははっきりわからない。調べます。(吉田校長)

・外国人初期適応教室とはどういうものか。(石川委員)

→海外から日本へ来たばかりの日本語がわからない子たちに対して、専任の教員が10週間指導をする場です。(吉田校長)

協議の結果、全員異議なく学校運営の基本方針を承認した。

(2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいかCS加算分についての説明があり、使途について委員に意見を求めた。委員から、以下の発言があった。

- ・ 防災学習として避難所開設の体験はどうか。(杉山委員)
- ・ PC関係の学習がもう少しあってもよいのではないか。(吉田委員)  
→タブレットの使用等について抵抗感をもつ教職員が多いと感じる。教職員のICT研修もよいかもしれない。(山守教頭)
- ・ PTAでは行事の手伝い等で人数確保が難しくなっている。地域の方にも手伝っていただき、謝礼を少し渡せたらよい。(磯部委員)
- ・ 地域の方が学校へ来て、子供たちと触れ合う機会はあるか。(若松委員)  
→中学生には自分たちが地域に出て活動をしてもらいたいと考えている。(吉田校長)
- ・ 職場体験はどうしても一人一か所になってしまうし、希望の職場に行ける子ばかりではない。体験の様子やインタビューを録画して、ICTを使って皆で共有できるようにしたらよいのではないか。(石川委員)

(3) その他

教育委員会の牧野指導主事が、本年度の学校運営協議会の目標について意見を求めたところ、磯部委員より発言があり、「学校運営方針を理解し、一歩ずつ進めよう」に決定した。

14 その他連絡事項等

司会から、次回会議は、令和6年7月10日(水)午後2時30分から開催する旨の連絡があった。